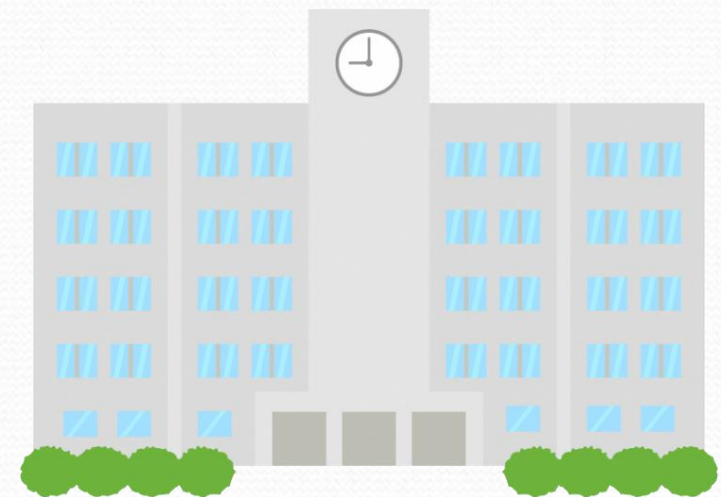


令和8年度 就学説明会（中学校向け）

1. 就学相談とは
2. 中学校の生活・学習
3. 就学（入学）までの流れ

浦安市教育委員会
教育センター



1. 就学相談とは…

生徒の発達特性や状況を共有し、
必要な支援や、力を発揮できる学びの場を
保護者と一緒に考えていく



通常の学級
特別支援学級
特別支援学校

まなびサポートとは？

①就学相談

生徒に適した学びの場と一緒に相談

②学校生活の相談

入学後、学校とともに必要な支援を相談

☆担当スタッフ

指導主事・指導員・医師・スーパーバイザー
相談員（公認心理師・臨床心理士・言語聴覚士
・理学療法士・作業療法士）

☆問い合わせ

教育センター（富岡小学校 内）

TEL 381-7961 月～金 9:00～17:00

2. 中学校の生活・学習



中学校では、授業は教科担任制となり、定期テストがあります。自分で計画を立てて、学習を進める力が求められていきます。部活動など、自分の興味のあることに、仲間と一緒に取り組むことがたくさんあります。

3つの学びの場

市内の公立中学校9校では、子ども一人一人の教育的ニーズに応じた学びの場を用意し、その子の持つ力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服することを目的として、適切な指導および必要な支援を行っています。

- 通常の学級
- 特別支援学級（全校設置）
- 特別支援学校

R8.4.1現在

中学校の日課表(例)

授業時間:小45分⇒中50分

朝の読書	8:15~ 8:25
朝の会	8:25~ 8:30
1校時	8:40~ 9:30
2校時	9:40~10:30
3校時	10:40~11:30
4校時	11:40~12:30
給食	12:40~13:10
5校時	13:30~14:20
6校時	14:30~15:20
清掃	15:25~15:40
帰りの会	15:45~16:00

通常の学級

- **大きい集団**（1クラス35～40人）で学ぶ。
- **定められたカリキュラム**に沿った**教科学習**
- **担任が中心**となって**全体の中**で**指導・支援**を行う。

中学校通常の学級(例)

	月	火	水	木	金
1	国語	社会	英語	理科	理科
2	数学	保体	理科	国語	音楽
3	技・家	数学	社会	数学	国語
4	技・家	国語	美術	英語	保体
5	社会	道徳	保体	総合	学活
6	英語	英語		総合	



「通常の学級」の中での特別支援教育 教室にいる様々な個性の子ども達



担任が中心となり、大きな集団（最大35～40人）
の中で特別支援教育を実施

例) 読み書きの支援

板書の量を調節
(めあて・まとめは必ず)
ルビふり
(教科書や試験問題)



特別支援学級

- 少人数での学習
- 生徒の状況や習熟度に応じたグループ学習・個別学習
(使用する教科書は生徒の状況や習熟度によって異なる)
- 学び方 (知的学級、自閉症・情緒学級)
- 体験学習等を通じて、生活の基本となる技術や行動を学ぶ
- 通常の学級との行事や教科学習への交流を生徒の状況や各校の状況に応じて実施

(例)

- ・具体物を使用して学習
- ・個の課題に応じたプリントの使用など



はっぴい発表会



プログラム	
9:20	午前の部 開会セレモニー
1 南小学校	かがやき学級 「かがやきトレジャー ～ワンピースを求めて～」
2 見明川小学校 富岡小学校	たんぼ学級 「カレーミュージック&マジック」
3 東野小学校	こすもす学級 「カラー オブ こすもす」
4 美浜南小学校	あすなろ学級 「ゆめみこぞう」
5 明海小学校 明海南小学校	にじいろ学級 「いっしょにおどろろ！みんながアイドル！！」
6 舞浜小学校	かめ学級 「ジャンボリー かめめ！」
7 堀江中学校 富岡中学校 明海中学校	11組 見明川中学校 5組 「みんな輝け！浦安魂」 1組 美浜中学校 E組
8 東小学校	はるかぜ学級 「はるかぜの音楽隊 ～プレーメンの音楽隊より～」
9 浦安小学校	なかよし学級 「Paradise Train ～電車の旅～」
10 高瀬小学校	おおぞら学級 「みんなアイドル！！ 輝け★おおぞらの仲間たち」
11 日の出南小学校 日の出小学校	くすのき学級 「音楽でなかくなろう けやき学級 ～日の出地区のすてきなおはなし～」
12 北部小学校	ひまわり学級 「きまぐれレストラン 2023」
13 高瀬北小学校	すまいる学級 「おむすびころりん」
14 入船小学校	わかしお学級 「IRIFUNEワールドカップ2023」
15 浦安中学校 入船中学校 高瀬中学校	10組 「友情、愛情、高め合い！ F組 替えや歌えや！UIT 第二章」 B組
	午後の部 閉会セレモニー



知的学級と自閉症・情緒学級について

	知的学級	自閉症・情緒学級
一クラスの人数	8人まで	8人まで
教育課程	<p>○各教科等の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> • 下学年や知的障がい特別支援学校の各教科の目標及び内容に替えることができる。 • 必要に応じて、各教科、道徳、特別活動及び自立活動の全部又は一部を合わせて指導することができる。(生活単元学習、作業学習等) 	<p>○各教科等の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> • 当該学年の各教科の目標及び内容を扱う。必要に応じて、下学年の各教科の目標及び内容に替えることができる。
	○自立活動(コミュニケーションの練習、社会性を育てる等の活動)	

学校名	設置状況	
	知的	自・情
中学校		
浦安中	○	○
堀江中	○	予定
見明川中	○	○
入船中	○	予定
富岡中	○	○
美浜中	○	予定
日の出中	○	予定
明海中	○	○
高洲中	予定	○

特別支援学級卒業後の進路

- 特別支援学校への進学
- 一般の高校への進学
(入学試験がある) 等

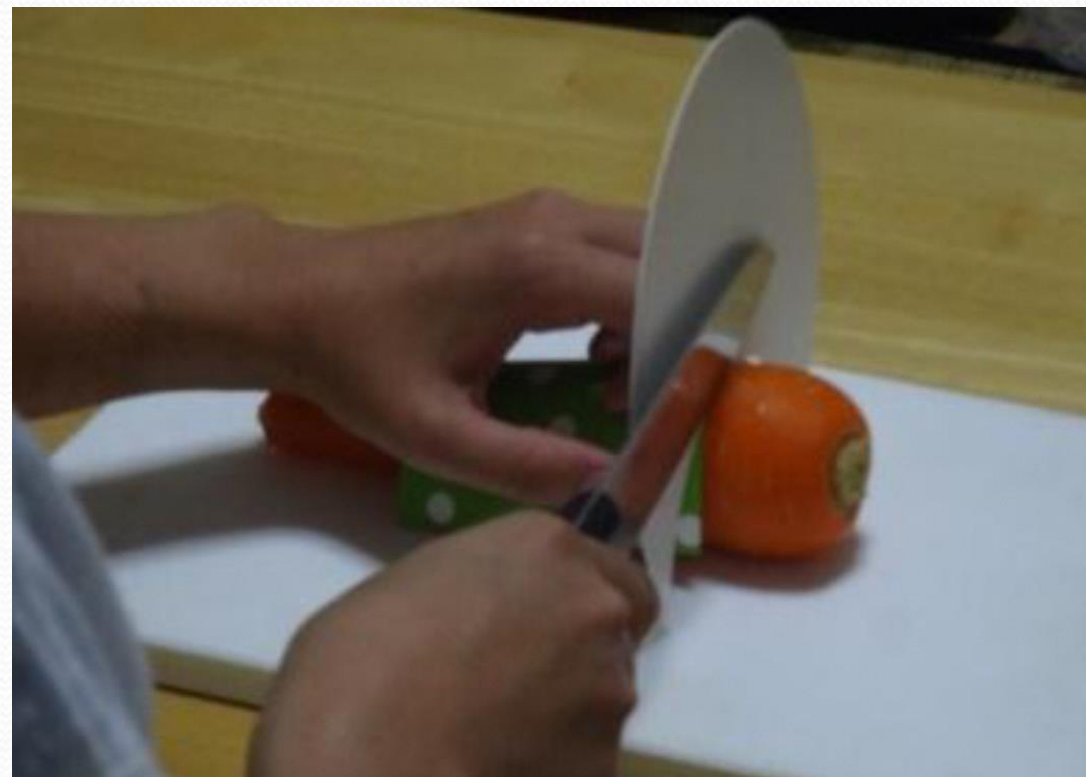
特別支援学校

- 少人数での学習
- 生活上の自立を図るための知識や能力を身に付けることを目的としている。
- 県立市川特別支援学校(知的)、県立船橋夏見特別支援学校(肢体不自由)などがある。



特別支援学校の様子

- 専門的知識を持った教員による指導
- 個別や小グループでの学習
- 一人ひとりに応じた道具が豊富



中学校 特別支援学校（時間割の例）

中学部1～3年（普通学級） ※重複A,Bは別日課	
時刻/曜日	月～金
8:50 ～9:20	日常生活の指導 (荷物整理・着替え・係活動・朝の会)
9:20 ～10:10	国語・数学／自立活動
10:20 ～10:50	保健体育／自立活動
11:00 ～11:50	保健体育、生活単元学習等、音楽 (曜日によって異なる)
11:50 ～13:10	日常生活の指導(昼食)等
13:10 ～13:50	総合的な学習の時間等 (曜日によって異なる)
14:00 ～14:45	日常生活の指導 (荷物整理・着替え・係活動・帰りの会) (水曜日は13:00～)
14:45	下校(水曜日:13:30)

特別支援学校の給食

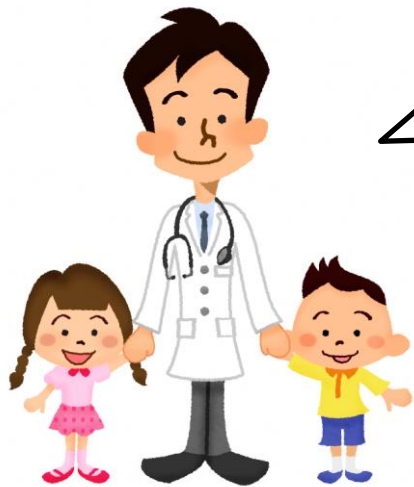
多様な食形態

普通食

きざみ食

やわらか食

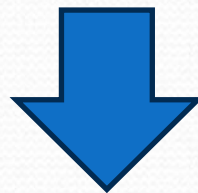
ペースト食 等



食事に関する専門医による助言・研修などがあり、教職員も専門的知識を持ち、学校給食の介助を行っています。

特別支援学校 中学部卒業後の進路

- 中学部から県立特別支援学校の高等部へ進学



- 障がい者枠での企業就労、福祉的就労をめざす

県立特別支援学校への就学を検討している方

- 学校説明会 (7月頃)
- 秋期教育相談(体験) (9~11月)

県立市川特別支援学校を希望・検討している
場合

▶ 「秋期教育相談」に参加

明海地区に開校する 県立特別支援学校について

現在 県立市川特別支援学校
県立船橋夏見特別支援学校・・・等



令和9年4月開校 9月から新校舎に居室予定
※ 開校に向けて準備中

就学後の支援（通常の学級在籍）

通級指導教室とは

- ▶ 通級＝授業（教育課程の一部）
- ▶ 対象：通常の学級に在籍し、通常の学級での学習におおむね参加できる児童生徒
- ▶ 週1～2時間、**授業を抜けて**通級へ
- ▶ **通級担当教員**が、個別もしくは少人数で指導
- ▶ 拠点校と巡回校での指導 ※別紙参照
(それ以外の場合は、**保護者等の送迎**が必要)

生徒に必要な支援かどうか→**入学後に学校へ**

通級指導教室の内容

▶ LD・ADHD等の通級指導教室

自己理解、行動コントロールなど

▶ 県立特別支援学校教員によるサテライト教室・巡回による指導（見え方・きこえ・からだ）

いろいろな学びの場

	通常の学級	特別支援学級	特別支援学校
主な学習形態	集団での 教科学習	個に応じた 教科学習	生活上の自立を 図る
学校	小・中・高	小・中	(幼)小・中・高
1学級の 児童生徒数	40名 (中1は35名)	8名	6名 (重複3名) (高校は8名)
担任	1名	1名	1名

小学校6年生の就学 まなびサポートへの相談手続き

進学・ 転校・ 転籍先 在籍校・学級	中学校 通常の学級 へ	中学校 特別支援学級へ		中学校 特別支援学校 へ
小学校 通常の学級在 籍	不要	必要		必要
小学校 特別支援学級 在籍	必要	学区	学区外	必要
		原則不要 (学校間引継 ぎ)	学校での 面談	

小学校（特学）⇒中学校（特学）へ

基本的には…

まなびサポートの就学相談不要

例：小学校と同じ中学校区へ

現住所のある学区の中学校へ

学区外就学（上記以外の理由）の
意向がある場合



面談（学校、保護者）



教育委員会での協議

就学相談の流れ(別紙 資料参照)

5月12日

就学説明会 就学相談申込み(希望者のみ)

まなびサポート⇒保護者(後日電話)

就学相談開始



6~7月 保護者:学区の特別支援学級の見学(希望者のみ)

※授業中のため、説明や質問の時間はありません。

学校:資料作成(作成依頼は保護者から)

まなびサポート:学校参観

集団の中の生活・学習場面を参観し、
生徒の姿を共有しながら、個別相談

就学相談の流れ（別紙 資料参照）

9月 6年生の生徒がいる全ての家庭
に学務課から案内が送付される。

✓ 学校公開の予定 など

就学相談の流れ（別紙 資料参照）

特別支援学級を検討している場合
必ず1度は特別支援学級を見学

9月末～ 学校公開

- ・特別支援学級・通常の学級
どちらも見学できる。
- ・生徒の同伴可

11月第1週までに就学先の希望決定
(通常の学級・特別支援学級・特別支援学校)
*特別支援学級・特別支援学校に就学する場合は、書類の提出が必要

2月上旬まで 中学校への情報提供の確認 (就学相談の内容について。希望者のみ)

生徒の詳しい状態像については、各小学校から中学校へ引継ぎ

- 就学相談の内容・頻度は人それぞれ

3月 入学式前日見学、事前面談の連絡(希望者)

- パニックや飛び出し等の可能性が高い。
- 車いす移動や体育館へ入るのが難しい。等

入学式の当日から支援を必要とする場合

→所定の期間内に保護者から、学校へ連絡



就学相談が**かならず**必要な場合 (現在、通常の学級に在籍)

- 特別支援学校への就学を希望
・・・相談と手続きが必要
- 特別支援学級への就学を希望
・・・相談と手続きが必要
- 通常の学級と特別支援学級で迷っている
・・・ いっしょに考えていきましょう



就学相談が必要な場合 (現在、特別支援学級に在籍)

- 特別支援学校への就学を希望
・・・相談と手続きが必要
- 特別支援学級への就学を希望(学区外)
・・・学校での面談に、まなびサポートの同席と手続きが必要
- 通常の学級と特別支援学級で迷っている
・・・いっしょに考えていきましょう



- ※ 特別支援学級への就学を希望(学区)
・・・相談は不要(学校間での引継ぎ)

就学相談が必要な場合

<p>個別相談の希望 (予約の時間帯 等)</p>	<p>個別相談を 希望する / 希望しない</p> <p>※現在、特別支援学級に在籍している方 中学校就学後も、特別支援学級への就学を希望しており、学校見学のみ希望する方は 下記の□にチェックをつけてください。 □特別支援学級の学校見学のみ希望</p> <p>来所に都合の悪い曜日や時間帯があればお知らせください ()</p> <p>* 特別支援学校・支援学級への進学には、まなびサポートとの相談が必要です。</p>
-----------------------------------	--

- ・特別支援学校、特別支援学級への就学を希望されている方
- ・通常の学級と特別支援学級で迷っている方

「就学説明 受付個票」の「個別相談を希望」に○



まなびサポート職員から保護者宛てに電話をします。

生徒の力が発揮できる学びの場を
保護者と一緒に考えていきます。

就学相談を希望される方

- 相談申込票は相談の中で、追記・修正可能です。わかる範囲でご記入ください。
- 行動観察記録票…この後の個別確認の時にお渡しします。封筒ごと担任の先生にお渡しください。

※県立特別支援学校を希望・検討中の方は
後ほど個別に、別途説明あり

・今の時点で、個別相談を希望しない方



「就学説明 受付個票」の「個別相談を希望
しない」に○

※ 随時、就学相談は受け付け可能

特別支援学級、特別支援学校を検討される場合は
夏休み前までに申込みを!!

就学相談 よくある質問

1-1. 「学区」ではない学校に行くことはできますか？

- ・現住所により、学校が指定される＝「学区」
- ・原則的には、**学区の中学校に入学する。**

➤ 通常の学級の場合

- ・昨年度は、**小規模学校選択制度**を利用（対象学校は、9月下旬に「学務課」から、新1年生保護者に送付される文書で確認を）

➤ 特別支援学級の場合

- ・入学を希望する場合、就学相談の中で申し出る
➔ **教育委員会内で協議**

1-2. 学区の中学校には、知的または自閉症・情緒学級がありません。学区ではない学校に行くことはできますか。

- 現住所により、学校が指定される＝「学区」
- 原則的には、**学区の中学校に入学**する。
- 学区に希望の学級がない場合でも、児童生徒の障がいの程度や状態等に合わせた特別の教育課程で学習をしている
- 学区外を希望する場合、**教育委員会内での協議**が必要

2. 通常の学級で、補助の先生を付けてもらうことはできますか？

○児童生徒（個）に教員が付くという対応は、
していない。

・「補助教員」という職種は、現在はない。

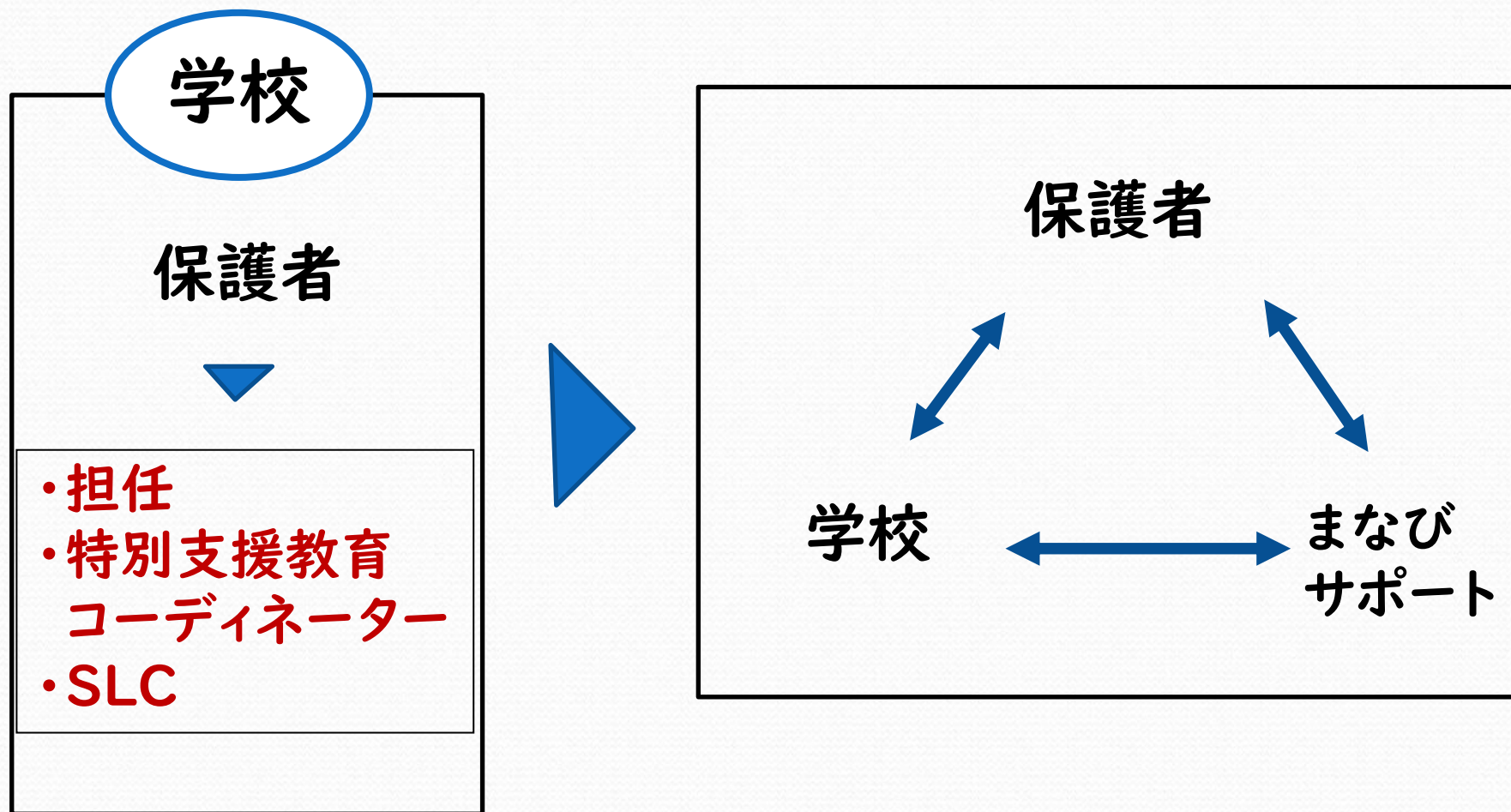
・**学年・教科支援教員**

…各学校に配置されるが、**個につくことはない。**
学年に配置され、**教科**の指導、支援にあたる。

・**特別支援教育支援員**

…心身にかかる障がいによって食事や排泄、歩行など
日常生活を送る上で介助が必要な児童生徒の支援

3. 就学後、まなびサポートへ相談したい時はどうしたらよいですか？



担任 (特別支援教育コーディネーター・SLC)等に相談

校内での検討を経て、学校からまなびサポートに依頼

以上で本日の就学説明会を終了します。

- 就学相談の希望がない方
⇒ 受付票を提出いただき、
そのままお帰りください。
- 就学相談を希望される方
⇒ 職員が個票の確認に参りますので、
お席でお待ちください。

ありがとうございました。